



日刊 動労千葉

國鐵千葉動力車勞働組合

〒260 千葉市中央区要町 2 番 8 号 (動力車会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936番
 (公) 043(222)7207番

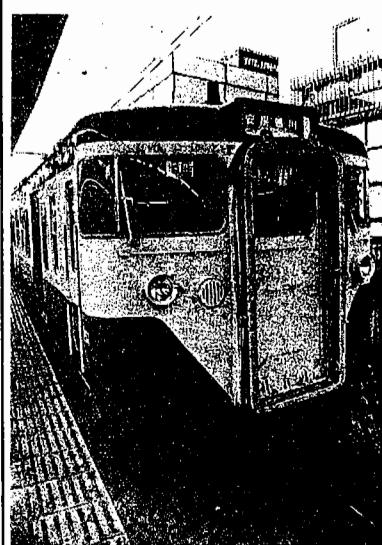
93.11.5 No. 3887

もうけ優先！12・1タイ改阻止 地域切り捨てストップを

JR東日本は、一二・一ダイ改で、JR発足後最大の在来線約九、五〇〇回もの削減（特急七、五〇〇回、普通二、〇〇〇回）を強行しようとしている。また、JRバス関東も定期バス路線の約四割にあたる三五路線八七区間、延べ五九一・六回を今後五年間で廃止することを明らかにした。バス路線廃止区间沿線は、他の公共輸送機関のない地域が多く、影響をこうむる自治体は四一市町村に及ぶ。千葉支社においても、七月ダイ改で十本の列車が廃止され、十二月ダイ改でもさらに十八本の列車が切り捨てられようとしている。廃止キロは一、三三八・七営業回に及ぶ。

千葉日報 1993年(平成5年)1月22日(木曜日)

遠隔地の"足切り捨て"



12月からダイヤ改正

JR列車18本を短縮、廃止

千葉県動
県に改正反対を要請

「おまえ、不思議なのが生
き残っているんだ。『地獄
の門』を開けてやるな
とお母さんが娘の生誕式で
おっしゃった」トーハルがア
ルバウの手元を押さないで配
布された文書を見てたが、千
葉の頭領田中正一は改定
した。戦
争を免れて貢

また、久留里上総山間下二本の廃止などは、「時短」のための要員上も乗務員運用上も全く問題はなく、廃止の根拠など何ひとつ存在しない。しかし、廃止の理由を団交の席上で

うというのだ。
これは、JR版リストラ攻撃だ。今、資本は、「二百万人の企業内失業者がいる」として、膨大な首きり攻撃を開始していく。また、「規制緩和」と称し

地方交通線の廃止は、これと全く同じ発想である。断じて許することはできない。ストライキで闘うぞ！

出ないところに要員など配置で
きるか、廃止線区で生活する人
たちのことなど知つたことか」
というのだ。一体こんなことが
社会的に通用すると思つてゐる
のか！ そもそもJRが、国民
の血税で造られた国鉄の資産を
ただ同然で引き継いだ会社であ
ることすら、すでに眼中にない
のである。

追及すると、
組 久留里線—亀山間の廃止
は、せいぜい油代が削減で
きるという程度の意味しか
ないではないか。
当 そうだ。それが重要なん
などといふ始末である。わずか
の油代を節減するために、地域
に住む人たちの生活をおし潰そ

て、中小商店主・企業や農民保護のための「規制」を一切撤廃しようとしている。この「規制緩和」が強行されれば、さらに二百万人を超える失業者が生み出されると言われている。結局支配階級は、何百万人の失業者が生まれようと、強い者だけが生き残ればいい、という政策にふみ切ったのだ。JRの新たな

反合・運転保安確立！ 反戦・反核を担う労働運動を！